ハローキャリアワーク通信

令和８年１１月
教育総合センター
事業推進担当課

東宝株式会社、TOHO スタジオ株式会社、TOHO シネマズ株式会社 による
「スクリーンの向こう側へ。映画が生まれ届くまでを観に行こう！」



１０月３１日、砧地域にある「東宝スタジオ」において、表題の活動が行われました。さわやかな秋晴れの下、３００名以上の応募者の中から厳正なる抽選で選ばれた２９名が、元気にプログラムに参加しました。

普段めったに立ち入ることができない場所に入ることができた子どもたちは、うれしそうな笑顔とともに少し緊張した面持ちでした。中には「ずっと見学してみたかった東宝スタジオについに入ることができて、うれしくて仕方ありません」と言う子もいました。みんな興味津々です。いよいよワークが始まります。

「センターホール」という会場に集合した子どもたちは、区の担当者からの注意事項等の説明を聞いたあと、班の中で自己紹介をしました。学校名と氏名、そして今回は好きな映画をひとつ、メンバーに伝えます。この５人組を中心に、見学したりワークに取り組んだりしていきます。



東宝の山代さんから、映画の仕事についての説明がありました。ひとつの映画ができるまでに、多くの人たちが関わっていること、映画は①制作 ②宣伝 ③興行 の３つの手順でお客様に届くこと、等を教えてくださいました。さらに①の制作について、映画の企画や脚本、映画を制作する東宝スタジオの説明など、楽しい写真を使ってわかりやすく説明していただきました。子どもたちは、ＴＯＨＯスタジオ長野さんのお話をよく聞き、素直に反応していました。

次にいよいよお待ちかねの、スタジオ見学ツアーの出発です。２つのグループに分かれて、広大な敷地を巡っていきます。大道具を組み立てている場所や様々な撮影で使用した衣装をしまっている倉庫、特殊メイクの部屋では、実際に危険な撮影で使用されたキャストさんそっくりのダミー人形や、キャストさんの顔を型取ったライフマスクが所狭しと並べられていました。元は巨大なプールだった場所に建つ大きなスタジオでは、その大きさに子どもたちは驚きの声をあげていました。そして、最大の見どころである「ゴジラスーツ倉庫」に入りました。現在はフルCGで作られているゴジラ映画ですが、２００４年まで実際の映画撮影で使われていたスーツ６体が、大切に保管されていました。子どもたちは本物の迫力に、圧倒されていました。間近で見る本物のゴジラを特別に少しだけ触れることが許され、肌の感触を確かめていました。見学する間、子どもたちからは社員さんに向けて、次々に質問が出されました。その一つひとつに丁寧に答えていただきました。



スタジオ内は一切撮影禁止のため写真がありません こんなイメージです

敷地内にある枚岡神社に参拝したあと、「HIGH RESOLUTION BASE」に向かいました。ここは撮影した映像の色を調整するところです。子どもたちは社員さんの説明を聞いてから、一人ずつ実際に機器を操作して、自

分好みの色調に変える体験をしました。空の色を夕焼けっぽくしたり、ゴジラが吐く熱線を迫力ある色に変えたりして楽しんでいました。

最後は大きな試写室に入り、「ゴジラ－1.0」の銀座上陸の場面を鑑賞しました。天井を含む室内全体に配置されたスピーカーからは、ゴジラの咆哮や足音の地響きが、頭上や背後など、あらゆる方向から迫ってきました。ドルビーアトモスならではの立体的な音響によって、まるで作品の世界に入り込んだかのような、圧倒的な臨場感を味わうことができました。



会場に戻り、後半のワークに進みます。山代さんから②宣伝：映画のことを知ってもらい「見たい」と思ってもらう仕事、についての説明がありました。そして、今回ひとつ目のワークである「ゴジラ－0.0」のキャッチコピーを考えよう！が始まりました。ゴジラの魅力的な言葉を書きだし、次に自分だけのキャッチコピーを書きだす個人ワークを行いました。その後、班の中でみんなが考えた言葉を出し合い、一つのキャッチコピーを作り上げるグループワークに入りました。限られた短い時間で熱心に話し合い、大きな紙に書いて全員に向けて発表しました。

次に、ＴＯＨＯシネマズ稲穂さんから③興行：映画を届ける工夫について説明がありました。そしてコンセッション（ポップコーンやドリンクなどの売店）の新しい商品を考えよう！というふたつ目のワークに入ります。まず、自分だけの商品を考えようという個人ワークを行いました。その際に、ポップコーンの味を確認してみよう！というＴＯＨＯシネマズからのご配慮で、子どもたちにポップコーンが振舞われました。

班で決めたキャッチコピー

Ａ班：巨大な怪獣がビーム１つで全てを壊す

Ｂ班：ゴジラのしんのちからがまいおりる
　　どおする東京 どうなる日本

Ｃ班：ふたたびやってきた史上最恐のかいぶつ
　　あなたの想像をぶっ飛ばす!?

Ｄ班：ゴジラ再び 日本壊滅 生きてかえれるか？

Ｅ班：「これでおわりにしよう」

Ｆ班：ゴジラのしゅうげきから始まる
　　黒いかいじゅうが町をおそう
　　夢か？希望か？世界の終わりか？



ポップコーンをもらって うれしそう

子どもたちはポップコーンを味見しながら、一生懸命新しい商品のアイデアを考えていました。ゴジラをイメージしたポップコーンやチュロス、パンやドーナッツ、ゴジラ型クッキーや熱線ソーダなど多種多様な新商品が考え出されました。その後、班のメンバーで発表し合いアイデアを共有しました。

今日の体験のまとめとして、山代さんから「身の回りのすべてのものに、たくさんの人の工夫や仕事がつまっています。好きなことを調べてみると、きっと新しい発見がありますよ！」というメッセージをいただきました。

最後に各自が今日の振り返りをして、東宝からのお土産を受け取り、全員でゴジラ像の前で記念写真を撮って終了しました。



©1954,2007 TOHO CO., LTD.
© TM&© TOHO　©2007 TOHO